



**認知症になっても住みなれた地域で暮らし続けることができるよう
多職種連携研修会 連続講座「認知症のケアの向上と多職種連携」を開催**

生駒市は、団塊の世代が 75 歳以上となり認知症高齢者の増加が予想される平成 37 年（2025 年）に向け、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療分野と介護分野の更なる連携強化を図るため、それぞれの専門職が認知症高齢者に対し何ができるかを考える機会を持ち、専門機関のつながりと支援強化の必要性についての理解を深める「多職種連携研修会」を、一般社団法人生駒市医師会との共催で開催します。

今年度は連続講座として、医療分野・介護分野・法制度それぞれの専門家を招いての講演と、グループに分かれて事例検討等を行います。

■ 連続講座「認知症のケアの向上と多職種連携」

◇ 日時・場所

第 1 回 10 月 21 日（土） 14:00～17:00

第 2 回 11 月 11 日（土） 14:00～17:00

第 3 回 11 月 18 日（土） 14:00～15:30

いずれの回も生駒市コミュニティセンター402～404 会議室

◇ 参加者

市内の医療・介護関係者（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護福祉士、ケアマネジャー、社会福祉士など）

◇ 内容

第 1 回 講師：厚生労働省老健局振興課 介護支援専門官 石山 麗子 氏

認知症の当事者及び家族のケアを実践していく上で、多職種連携は欠かせないものですが、具体的にそれぞれの職種がどのように役割を果たし、チームケアを実現させていくのかについて、参加者の皆様と事例を通して検討します。

第 2 回 講師：生駒総合法律事務所 弁護士 上崎 智代 氏

認知症高齢者の支援を巡り、成年後見制度の活用や、ともすればやむをえない措置等の必要性も考慮しながら、援助を続ける必要性があります。今回は、そうした事例を多職種で検討する中で、どの時点で何を行うかについて専門の弁護士の助言をいただきながら、学びを深めます。

第 3 回 講師：医療法人社団つくし会新田クリニック理事長 新田 國夫 氏

認知症高齢者が初期の段階から終末期に至るまで、どのような経過をたどるかを振り返り、医療と介護がどのように連携を図ることがケアの向上につながるかを学びます。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市地域包括ケア推進課（課長 田中 課長補佐 知浦） ☎0743-74-1111（内線 461）